



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第2回 「森の樹木の特徴と

剪定方法を学ぼう①



日時：令和7年5月18日（日） 9:30～12:30

場所：羽根木憩いの森

ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

憩いの森の低木管理や剪定、安全管理のポイントについて講義をしたあと、樹木の強剪定や枝抜き、実生木の伐採等の実習を行いました。

A 実習中



羽根木憩いの森（講義・実習エリア）



講義風景



B 実習中



E 実習中



C 実習前



C 実習後



D 実習前



D 実習後



道具をお手入れする時のポイント



◆活動後に毎回やるのが大切！

刃物を布で拭いたり、ヤニ取り・防錆スプレーを吹きかけたりすることで、道具を長持ちさせたりすることができます。簡単なお手入れでも毎回やるのが大切です。

◆ケガの予防・モチベーションアップ効果あり！

切れ味の良い刃物を使えば、ケガの予防に効果があります。また、お手入れが行き届いた道具を毎回使うことでモチベーションアップにつながります。

◆メンテナンス作業も安全・安心第一

複数人で作業する場合は間隔を開ける、周囲を見る、声掛けを心がけましょう。

今回のキーワード



今回の講座では前半に安全・安心に活動するための8項目の復習や剪定に使う道具のレクチャーを行いました。後半ではそれらを踏まえたうえで実際に樹木の剪定作業を行いました。樹木の剪定は夏の暑くなる前の今の時期に行い、竹や樹木の枝は隣地に越境する前に、つる植物はフェンス等に絡まる前に手入れを行うことがおすすめです。

詳しい剪定時期は講座で説明したとおり、樹木によって異なります。わからない場合は、自分で調べてみたり専門家に聞いたりしましょう。

また樹木の剪定では基本的に切りすぎても枯れたりしません。ハチやチャドクガなどに十分注意し、紅葉だけではなく新緑も楽しみながら剪定作業行いましょう。

(一社)練馬環境造園協会